

## 乾燥肌に保湿化粧品は一時的な対策に過ぎない

-乾燥肌のままで、乾燥は繰り返し再発する-

保湿の重要性を考えると、水分蒸散を防ぐことが鍵となります。バリア機能が十分に働かないと、いくら保湿をしても効果が得られにくくなります。ここで重要なのは、保湿に必要なのはバリア機能そのものの強化です。バリア機能がしっかり働くことで角質層の水分が保持されるので、水分蒸散を防止できなければ、保湿の効果は意味をなさなくなります。

だからこそ、化粧水で水分を補給し、その水分を閉じ込めるための乳液やクリームが使われていますが、これも化粧品会社のマーケティング戦略の一環であり、本当に肌にとって必要なケアなのかは疑問が残ります。これが実情ではないでしょうか。

化粧水と乳液・クリームの使用は確かに広く推奨されており、これは多くの化粧品会社のマーケティング戦略の一部であることもあります。しかし、本質的には以下の点が重要です：

### ●バリア機能と保湿の関係

1. **バリア機能**：バリア機能のある皮膚バリアを持つ肌は普通肌で、外部からの有害物質の侵入を防ぎ、水分の蒸発を防止します。この機能が低下すると、普通肌は乾燥しやすい乾燥肌になり、乾燥トラブルが発生・再発します。
2. **保湿化粧品**：保湿化粧品はバリア機能を修復・強化しませんので、乾燥肌の人が保湿化粧品を使っても、潤い効果は一時的で、乾燥肌のままです。化粧水は水分を補給し、乳液やクリームはその水分を閉じ込める役割を果たします。その効果はあくまで一時的です。乾燥肌のままには変わりなく、乾燥を繰り返します。

### ●マーケティングと実際の必要性のギャップ

- 化粧水と乳液・クリームの組み合わせが推奨されることが多いですが、普通肌の方には有用でも、乾燥肌が普通肌が変わるものではなく、乾燥肌の方には本当に必要不可欠か？
- 例えば、リノール酸含有で合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品は、バリア機能を強化し、角質水分保持(保湿)効果を高める助けとなります。特に乾燥肌・敏感肌の方は、マーケティングより科学的に効果が証明された成分を選ぶことが重要です。